

新潟県

公民館月報 3

平成14年3月号 通巻第589号



表紙 「奥三面遺跡群」
(朝日村公民館)

特集 第13回公民館全国セミナー参加報告

視 点 街と公民館

ひろば 「権田雷斧塚下について」

実践シリーズ ホランダニア入門セミナー

サークル交流 たまごくらぶ (見附市中央公民館)

茶会 (浦川原村中央公民館)

素顔拝見 村上靖子さん (新潟市)

齋藤智典さん (三島町)

第5回理事会及び第3回評議員会開催

平成14年度の事業計画概要(案) できる

第43回関東甲信越静公民館研究大会 兼53回新潟県公民館大会は、豊浦町で

去る3月4日(月)の午前、新潟市中央公民館 して、午後は第3回評議員会兼第3回関東甲信越静公民館研究大会兼第53回新潟県公民館大会準備委員会が開催され、当会の「14年度 越静公民館研究大会準備委員会」が開催され、基本方針・重点目標、事業計画案「第43回関東甲信越静公民館研究大会兼第53回新潟県公民館大会要項案」等について協議され、その後エコー保険の説明がなされた。

一、新年度の基本方針
針・重点目標・事業計画案について

今年度は本県豊浦町で開催予定の第43回関東甲信越静公民館研究大会の成功に向けて、組織体制の確立を図ることを中心に、重点目標、事業計画案を策定することとした。

二、第43回関東甲信越静公民館研究大会兼第53回新潟県公民館大会の要項案について
去る2月27日(木)、関プロ公連理事会で内定した要項案が事務局から提案され、ほぼ了承された。

・テーマ 「公民館の挑戦」
・会場 豊浦町月岡 ホテル 泉慶・華鳳

・内容 式典、分科会協議
表彰 記念講演等

・参加予定 一、二〇〇人
開催要項の詳細は、追って紹介する予定である。

また、本県割当ての五つの分科会発表については、上・中公連を中心に協議し、五月中旬には決定の予定である。

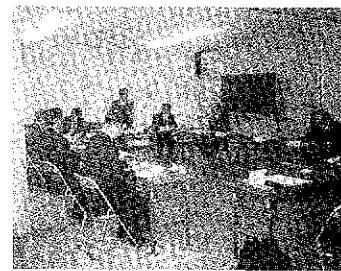
三、家庭教育支援事業の推進について
県教委から協力要請がなされている家庭教育支援事業については、上・中・下越公連別研修会内容の中に必ずコマ組みしていくこととする。

四、情報提供事業の充実について
(1)県公連事務局のIT化を図る。

県内各市町村公民館のIT化が進む中で、県公連事務局のIT化については、昨年度からの継続事業として実施することとしている。とりあえず、関プロ大会申込み受け口であるWebサイト「イービー」の窓口のITライオンと県公連事務局と接続できるよう設備工事施工の予定である。

(2)新潟県公民館月報のA4判文化移行について
市町村広報紙のA4判化が進む中で、五年米懸案事項として検討してきたが、月報六百号発刊予定の平成十五年二月号を目途に試作・移行することとする。

・出席 上公連理事・監事
(県公連事務局長)



△二ノ倉会長あいさつ

《上公連第3回 理事会開催》

・平・14・2・15(金) 10時
・於 上越市女性サポートセンター 1会議室

・出席 上公連理事・監事
(県公連事務局長)

会議開催日の当日は、あいにく降雪に見舞われ、少し遅れての開会となった。
協議議題は、(1)14年度の役員改選で、①上公連の会長1名、副会長4名、監事2名を選出した。ついで②県公連の役員に移り、副会長1名、理事2名、評議員2名、監事1名を選出した。ただし、東頸は、持ち返って実名を後程報告することとなった。

(2)第54回県公民館大会開催候補地について協議した結果、新井市に決定。(3)の14年度上公連研修会は上越市に決定した。

「公民館運営審議会委員の手引—改訂版—」完成!!

実践事例集 地域づくりと公民館

社会教育学級等における

学習計画立案の手順と方法

元横浜国立大学教授 吉川 弘著

A4版 500円 68ページ

A4版 500円(送料実費) 88ページ

B5版 500円(送料実費) 44ページ

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年極 1,800円

申込先 ☎951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 FAX025-224-6073



街の中心部に生まれ最近まで暮らしてきて投票以外で公民館へ足を運んだことは数回しかなく、日常の生活の

視点

新潟市の中央公民館の中へ初めて入ったのは、選挙の投票の時だったと思います。

中で縁の遠い建物でしたが、いつの頃からか意識の中で公民館は今の場所に控えめで地味に存在していました。

半年ほど前から参加した市民グループが折会議室を利用する度に訪れるようになり、公民館をそれまでよりは身近に感じるようになりました。

街と公民館

樋口潤一

古くなった施設も、最近の建物にない落ち着きと妙な安心感がある。

堀の埋め立て、市役所や中央公民館の奥のお寺の移転、家並みにそぐわない飲食ビルの乱立など、新潟市の顔ともいえる古町・西堀が、都市機能の効率化



関プロ公連第2回理事会開催

○関プロ公連事務局新潟県公連へ関プロ公連会長に今井昭友会長就任

- ・平成14・2・27(水)
- ・豊浦町ホテル泉慶・華鳳で
- ・関プロ公連理事 22人

関プロ公連第2回理事会は、去る27日(水)豊浦町ホテル華鳳で開催され、議題6件が協議され、ほぼ原案どおり了承された。

①第24回全国公民館研究集会(長野大会)の収支予算執行状況についてと②平成13年度関プロ公連事業及び収支決算について事務局である長野県公連から報告。③第25回全国公民館研究集会(松山大会)の分科会提案発表については、本県は第9分科会「地域づくりと文化」を担当、十日町市中条地区公民館が準備に入ることとなった。④14年度役員選出については、事務局が本県に移ることとなり、会長には今井昭友(本県会長)が就任することとなった。⑤第43回関プロ大会要項案等について本県から提案、検討協議の上決定。なお分科会発表については残りの5分科会が本県の担当となった。

「権田雷斧 下について」

出雲崎町公民館運営審議会委員 安達 俊堂

昨年十一月、出雲崎総合大学歴史講座「権田雷斧について」の主題で話した一端を紹介する。

管長、総本山長谷寺化主に。五十六歳。

(資料「自叙略伝」「大正大学学報」) 権田雷斧著作集全十八巻の内、第十七巻に収録) 雷斧(下)は、弘化三年、現出雲崎町市野坪権田家の第二子として誕生。七歳の時、市野坪正法寺(現真言宗豊山派)に入寺出家。十一歳で笈を負うて奈良初瀬の総本山長谷寺に登嶺研鑽。明治戊辰の変(廿二歳)に下山。四方に求道。二十六歳の時、曹洞宗に転派し、名を雷斧と改める。後、東京曹洞宗専門校の学監となる。

明治四十二年、初代豊山大学長となり、十年間在勤。その間大正四年、上野寛永寺で「曼荼羅講伝」を開講。毎日二時間ずつ、二週間。受講者一三七名。その二年後、東京帝国大学で「密教綱要講義」を毎週一回、前後十一回開講。受講者一五五名。

大正十三年、真言密教を伝えるために、中華民国に渡航し開教。現在、「香港居士林」という精会があり、雷斧(下)を祀っている。昭和三年、大正大学学長に就任。昭和八年、米寿記念に論文三冊出版。翌昭和九年二月七日、出雲崎町田中多聞院にて遷化。

平成十五年は雷斧(下)の第七十回忌。郷土の偉人を偲び、この機に顕彰をのちあり。合掌。



△権田大僧正像

真言宗に復帰する。著述を開始する。

明治三十四年、真言宗豊山派



公民館活動の在り方

セミナー参加報告

国立オリンピック記念青少年総合センター研修報告である。当公連今井昭友会から主張を述べられた。



△発言中の今井会長

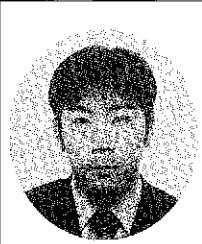
◇はじめに

この度、公民館全国セミナー(正式名称・生涯学習推進研究協議会)に参加する機会を頂き、去る1月9日から11日までの3日間に国立オリンピック記念青少年総合センターで、「21世紀に果たすべき公民館の在り方を探る」という研究主題のもと学んできた。

◇公民館の新たな動向

地方分権、規制緩和、IT革命といった社会全体の変化により、人々のニーズやスタイルも多様化、個別化されてきて、公民館活動の各分野で問題が出てきている。しかし、そんな時だからこそ、従来のやり方から抜け出し、現代にあった公民館運営を行うべきと講演の際にも述べられていた。

公民館ほど地域住民と触れ合える機関は他にない。現在、公民館運営は行政主体から地域主体に移りつつあり、現代のニーズにあった運営の他に、地域のNPOやボランティアと連携した活動も課題とされている。今回のセミナーでも、講演やシン



公民館の新たな動向

糸魚川市中央公民館主事 水島 貴幸

ポジウムで実際に実施している地区や団体の紹介・発表があったが、これらは連携事業等でもの学習の成果発表を行うこととで、地域に成果を還元するという、地域主体化のよい例であると思われる。成功の要因としては、ノルマで関わるのではなく、公民館と連携団体の双方にメリットがある形で取り組んだことにあり、結果として運営しやすいものができたのである。その点が、連携事業を行ううえで重要となってくるこの

のあり方を考えるなら、これらの事業の拡充を目指し、そのために公民館が重要な機関であることを認識し、関連部局と連絡調整の強化を図ることが必要になってくる。それにより、自主的なグループの育成や学習者指導の事業実施を支援し、住民自治、自立という公民館の目的を進めることができるようになる。最近の社会性の欠如や希薄化について、子どもに関する問題を挙げる方がいるが、今どきの子どもを育てたのは、周りに

しては、どんな働きをしていくかなどの基準を設けて、説明責任と自己評価ができるようにしなければならぬ。今後は他団体との連携が増加し、地域主体化が進むことが予想されることから、公民館は地域に対してわかりやすく、また透明化を図ることが大切になる。それによって、公民館はこれからも地域に親しまれ、必要とされるものになると思われる。

とである。

分野によっては、知識や他との連携の不足や意識の低さから、住民の学習、活動をサポートする力が弱いものもある。子育て支援の分野のなかで、家庭教育支援活動について以前調査が行われたが、公民館活動全体の1割強ほどという報告であった。活動に関する懸念が先立つことや、公民館活動として意識されていないことなどが原因で十分展開されていないというも

いるいまどきの大人であるのだから、そこに問題点を置くことは間違いである。まずは大人が変わり、地域が変わり、子どもが変わるという循環を目指し、その大人を育てるために公民館が中心となって考え、時代を担う子どもたちを育てることや、家庭や地域の教育力の再生を目指すことについて、さらに活動を展開すべきであろう。

◇最後に

これからの公民館の在り方と



△受講スナップ①



糸魚川のはし



《研修報告記》 第13回公民館全国

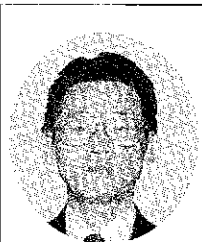
去る1月9日から11日にわたり東京
ターで各都道府県から参加して行われ
長もパネリストとして参加され、現場

△廣瀬先生のご指導

聞きなれた言葉ですが、篤志面接委員からお話をうかがうとあらためて地域を預かる公民館としては、ともに考えなければならぬ現代の大切な課題ではないだろうかと思えます。

◇シンポジウムの中で
また、「21世紀に果たすべき公民館の在り方を探る」をテーマにシンポジウム、基調講演、事例研究等の発表が行われました。

その中で、「生きる力を身につける」には「愛情の基盤」が大事だし、「話を聞いてもらってホットする時間」には「居場所」が必要で、と話されておりました。



研修報告

新潟市中地区公民館長 高橋 清夫

◇はじめに

「第13回生涯学習推進研究協議会」(通称：公民館全国セミナー)のトップバッターとして、歌手・保護司として、文部科学省中央教育審議会委員である千葉絃子さんの「私と生涯学習」と題した特別講演がありました。今回は、篤志面接委員の立場で語っておられ、「私の「生涯学習」は、施設取容者との話のやりとりの中からたくさん学んでおります。」という話がありました。

特に、政策研究大学院大学教授で、文部科学省生涯学習政策局生涯学習調査官でもある今野雅裕氏の「公民館子育て支援活動調査から見たこれからの公民館」の基調講演の中で、「家庭教育支援・地域の青少年健全育成」に関して、公民館の活動に位置付けられていない」という調査報告がありました。

調査項目は「家庭教育支援」、「学校教育支援」、「地域の青少年育成」の3項目ですが、「家庭教育支援」、「地域の青少年育成」

育支援・青少年の健全育成をはじめ、まちづくり、人づくりといった問題を、公民館活動の大きな課題として捉えていかなければならないし、公民館がそれぞれの重要な機関であることの再認識をすること、そして有効・多様な方策を考えていかなければならないと思います。

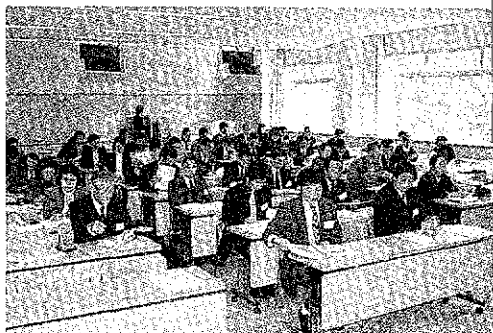
また、教育委員会内部の連絡調整も必要であります。教育委員会だけの課題としてはなく、行政部局との連携調整の推進を行わなければならないと思

に関して言えば、公民館関係者には「社会教育課・生涯学習課等本課がやるべき事業だ」という意識が強いという調査結果となっております。調査結果がすべてではないと思いますが、同じ社会教育に関わる一人として残念でなりません。

います。

《研修日程》

- 第一日目 1月9日(水)
 - ・ 開会行事 13:00
 - ・ 特別講演 13:30
 - ・ 基調講演Ⅰ 15:30
 - ・ 懇談会 18:00
- 第二日目 1月10日(木)
 - ・ 基調講演Ⅱ 10:00
 - ・ シンポジウム 13:00
- 第三日目 1月11日(金)
 - ・ 事例研究 9:30
 - ・ 閉会行事 12:00



△受講スナップ③



新潟スタジアム・ビッグスワン



△受講スナップ②

実践記録シリズ (55)

ボランティア入門セミナー

新潟市石山地区公民館

嘱託 梅沢 薫

一、はじめに

当公民館は、新潟市の南東部に位置し、もとは田園地帯であったが、昭和40年代以降宅地化された結果サラリーマン家庭を中心に入人口が増え、現在およそ6万4千人を超える人口となっている。地域内に市営高層住宅等があって、子育て中の世

代が多い一方、宅地化された当初移住して来た年代が高齢期を迎え、公民館を利用しての団体の平均年齢も60代が中心になっている。

新潟市では、総合福祉会館の中にあるボランティアセンターが、福祉に関するボランティアのコーディネートと相談窓口となっている。

二、講座開講のねらいと経緯

阪神大震災をきっかけに、日本でも「ボランティア」という言葉が定着して来た。しかし、欧米のように生活に密着し幼い時から育まれたものと違い、まだまだ一部の人がするものと思っている人が多いと思われる。石山地区公民館では定期使用団体に對し、ふだんから自分たちが学んでいることを地域の中で生かす活動をするように呼び

かけている。高齢者社会に入り、

「遠くの身内より近くの他人」の例えを出すまでもなく、地域に住む人同士がお互いに支え合、潤いのある生活をしていかなければならない。

これまで折りにふれ、他の講座の一コマとして介護やボランティアについて学習する機会を作ってきたが、将来を踏まえ、地域のネットワーク作りを視野に入れ、独立した講座を開講することにした。

三、講座の概要

初年度は、ボランティア活動の歴史・意義等について大学教授から話を聞いたほか、市の総合福祉会館を見学し、市内のボランティア活動の現状を知るとともに車椅子介助について学んだ。また、特養ホーム、地域の茶の間等で活動している人から体験談を聞くとともに、一緒に

活動体験をする機会を設けた。13年度の内容(別表)も同様だが、前年度の受講生のアンケートから、地域の実情を知りたいという意見を取り入れたものとなった。

四、今後の展開について

ボランティア活動もさまざまあるが、まず一般に理解されやすいと思われる福祉の分野からアプローチした。その結果、地域内の知的障害施設からの照会や、受講者有志の新たなボランティア活動グループ(ふれあいの会)が誕生した。

今後は、従来地域活動として公民館を定期的に利用している団体に呼びかけて来たことを核

講 座 内 容		
回	内 容	講 師
1	生き甲斐とボランティア活動 ～気づいたときに行動しよう!～	ライフコーディネーター 田中 カツイ
2	石山地域のボランティア活動情報	石山地域保健福祉センター 所長 佐藤 美恵子
3	実践活動に向けて① ・車椅子と視覚障害者への介助を学ぶ ・障害のある人からのお話をきく (会場—新潟市総合福祉会館)	新潟市ボランティアセンター 所長 高橋 桂子 青木 美佐子
4	実践活動に向けて② ・ボランティアをするにあたって・・・ ・ボランティア体験活動 (会場—特別養護老人ホーム江東園)	特別養護老人ホーム 江東園職員 掛 斐 由美子
5	実践活動に向けて③ 「みんなで話そう! わたしにもできるボランティア」	石山ボランティアの会 会員 清水 富士夫 玉 越 博子



に、学習ボランティアとして自らの生きがいとも結び付いたボランティア活動の提案、住みよい町・地域作りのための企画をしていきたいと考えている。

サークル交流

保育園ごっこを

しようよ！
たまごくらぶ

「お母さん、お子さんと一緒に保育園ごっこをして楽しく遊びませんか。」と言い、サークルを統括して十年目になります。地域の乳幼児の親子の遊び場を作ろうとサークルを発足。毎年、就園前の子ども達とそのお母さん15組位所属しており、月二回土曜日に活動しています。



「び」に入ります。メニューは、お遊戯、お絵描き、ハサミチョップ、ケン遊び、小麦粉粘土作り、野菜スタンプ、おやつ配りなど、お母さんと一緒に無理なく行っています。材料は自分で取りにける、片付けるなど保育園の雰囲気の一部、周りの友達を意識し自然な形で感じさせ、社会性を育てています。子ども達は、後ろにお母さんがいるから安心して何でもできます。お母さんの笑う姿を見て子ども達も喜んでいきます。この繰り返しですが楽しく活動をして保育園へ送り出しています。

（見附市 同くらぶ代表 山崎 扶美代 記）

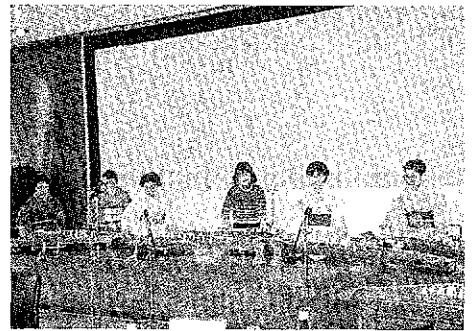
学校週五日制に向けて

大きな弾み

浦川原村 楽琴会

木曜日の夕方になると中央公民館の二階から優雅な琴の調べにのって、昔から慣れ親しんできた「春の小川」や「ふるさと」の曲が流れて来る。

人口四、三〇〇人余の農山村浦川原村にこの琴のサークル「楽琴会」が発足したのはいまから一六年前。文化面の発展を



夢見て山岸さんを始めとした三名のメンバーがひたすら稽古に励んできた。

発足当初から支えてきたのは生田流師範の坂本先生。そのお陰でメンバーも現在は六名に。

そんな練習成果は村の敬老会、芸能発表会で披露されるほか、上越で開催される都山会（尺八の会）、三曲会（三味線、琴、尺八の会）にも出場しているという。

二月の中旬、地元の下保倉小学校の六年を対象に「もののけ姫」や「春の海」の演奏を披露したり、それぞれ琴に触れてもらう等初めて「琴の体験教室」を行なったが、非常に喜ばれたという。完全学校週五日制に向け大きな弾みがつきそうだ。

（同村教育委員会 荒木 政幸 記）

新潟市中央公民館

主事 村上靖子 さん

昭和四十八年に建てられた中央公民館。

「おはようございます」とチョットか細い声が事務所に響く、公民館に勤務してこの三月で二年になる。中核公民館の事業係で、思春期家庭教育学級を始めとする六つの事業を担当している。日々パソコンに向かい事業の企画立案を黙々と行っている。でも、声を掛ける



（同館長補佐 藤井隆三 記）

素顔拝見

三島町教育委員会

主事 齋藤智典 さん

高校で柔道をやり通した根性の持主である。見た目にはそう見えないが力持ちである。昭和五十年生まれで、役場では総務、産業、建設の各課で重宝がられて（パソコン可）、今年度から教育委員会社会教育係へ。初任事が西山連峰マラソンだったが、前任者にかわいがられて（？）無事行方。体育係で実質一人体制だが、黙々（？）と努力している。

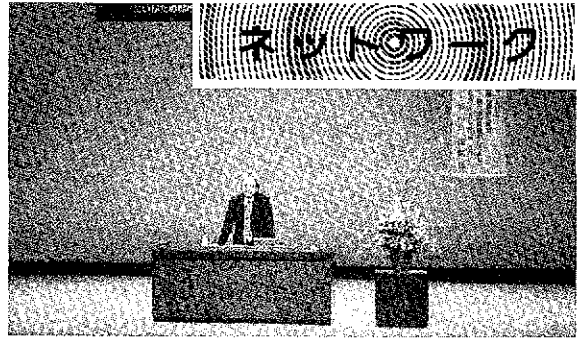
昨年、ナントこの若さで結婚する。うらやましがら先輩も多



数。町民体 育祭では、まだ真つ暗な午前3時頃から、委託の放送業者と準備していたガソリンスタンドである。

完全学校週五日制で社会体育が益々期待されてくるが、各スポーツ団体と良く連絡調整を行い、幅広い活動を行ってほしい。また、今後社会教育全般に精進してほしい。だいぶヨイショしたが、まあ新年であり、良しとする。

（社会教育係長 小林 茂 記）



恵贈資料紹介

歌集「銀化」

昨年 11 月 22 日の社会教育功労文科大臣表彰式席上でスナップ写真を撮り、お送りしたご縁で歌集をご恵送いただくこととなった次第です。

木県公連今井会長から、全公連創立 50 周年関連の会議で紹介され、すばらしいお人柄の方とは存じあげていたものの、実際歌集を手にとり、目をおおしてみて、その造詣の深さ、教養の豊潤さに接することができ、感銘を深くした次第です。

新潟都市圏の将来像を考える シンポジウム

～にいがたの都市のまとまり／新潟都市圏の一体化と 21 世紀のまちづくりを考える～

◇平成 14 年 2 月 19 日(火) 13:15～17:00
◇聖籠町文化会館 約 650 人参加

△ あいにくの雪の中、市町議会議員・職員等 650 余人の参加を得て開催された。

新川達郎(同志社大学大学院教授)の基調講演が、仙台市の具体的な事例を交えて説得力あふれることばでなされた。

ついで、新潟圏 8 首長によるパネルディスカッションが「にいがた都市のまとまり／新潟都市圏の一体化と 21 世紀のまちづくりを考える」をテーマにして、それぞれの立場から具体的な提案がなされた。新潟市を田園型指定都市に!! という将来的な展望に立っての論も展開されたが、熱気あふれる盛り上がりもみられた。ただ一般市民の参加が少なかったのが残念であった。

全公連副会長 木下正美

無「限」

標題の「銀化無限」も、氏の先達松永伍一さんの余白から知りまた、「柳川の白秋が乗り移っている」と称される程、格調の高い第三歌集であることも

……。

歌集の中での本県関連の歌・半島の端なる岬過ぎむとし、視野にぞ入り来佐渡ヶ島の影・洋上にはなかりし雲がひとの住む佐渡ヶ島のうへにたむろしてゐる。

かつては、福岡県三潴町長という激職にあり、また現在には全公連副会長の要職にありながら歌を詠み、詩を作られる姿に敬意を表する次第です。

(鈴木記)

平成 14 年 4 月の催物ご案内

◇開館 20 周年記念特別展 「21 世紀夢のロボット展」◇

3 月 23 日(日)～4 月 7 日(日)
(内容) 開発が進むロボット技術について、ロボカップの内容を紹介するとともに、さまざまなロボットを展示します。

- ロボカップに挑戦
ロボカップとは、2050 年までに人間のチャンピオンチームに勝てるサッカーロボットの開発を目的とするものです。ここでは、体験コーナーを交え、その内容を紹介いたします。
- ロボット王国新潟
新潟県内の学校や企業などで作られているロボットを紹介いたします。レスキューロボット、P-ROBO、高校生製作のロボットなど。
- 人間型ロボット
ASIMO (実物は 3 月 31 日(日)のみ紹介いたします。)
PINO (模型や映像で紹介いたします。)
PaPeRo (4 月 6 日(日)・7 日(日)に実演があります。)
- ◇ペットロボット

AIBO (犬型ロボット)
BN-1 (猫型ロボット)
アクアロイド (水中で動く魚やカメなどのロボット) ○ レゴのブロックでロボットを作ろう 組み立てるだけでできるロボット工作コーナーです。(持ち帰りはできません。)

◇なぜ? から始まるマジックショー◇

4 月 27 日(日)～5 月 6 日 (月・祝)
(内容) スリーキューブ (胴体切断) やウーダンのキャビネット (消える人物) などのマジックショーをお見せするとともに、そのトリック (仕掛け) を解説します。
マジックショーは、1 日敬回実施します。

お問い合わせ先
電話(025)283-3331 FAX (025)283-3336
Eメール nsm@coral.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.lalanel-gr.jp/nsm/index.html
〒950-0948 新潟市女池南 3 丁目 1 番 1 号 新潟県立自然科学館

あ と が き

◇関プロ公連事務局が本県へ第 43 回関プロ大会要項も内定。いよいよ本格的な準備始動となる。せめて、新潟市公連協、二市北蒲公連の年度末・年度始めの人事異動が小幅に終ること

を願うばかりである。同じく関プロ大会の受付業務、分科会参加分類等とのからみで、ジェイティービー新潟支店とのライン・IT 化が順調に移行することも併せて願う。とにかく 大多忙に!! (鈴木記)

表紙解説

「奥三面遺跡群」

ダム建設により発見。全十九遺跡。アチャ平遺跡・元屋敷遺跡は、県内屈指の縄文遺跡。平成十二年十月水没。

(朝日村公民館)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951-8053
新潟市川端町 2-9・県林業会館内
TEL・FAX (025)224-6073
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫
印刷 第一印刷所
〒950-8724
新潟市和合町 2-4-18
TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776
【定価 1 部 150 円 年 1,800 円】